



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月9日

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所 名
コード番号 3384 URL <https://arkcore.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 正渡 康弘
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 土屋 勉（TEL）03(5928)1537
半期報告書提出予定日 2025年10月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期中間期	3,988	29.0	353	△4.1	351	△2.5	236	△5.1
2025年2月期中間期	3,091	△7.9	368	20.5	360	19.7	249	20.9
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年2月期中間期	131.08		—					
2025年2月期中間期	140.26		132.17					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期中間期	2,885	1,507	52.2
2025年2月期	2,893	1,270	43.9

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 1,507百万円 2025年2月期 1,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	0.00			
2026年2月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,600	△10.6	312	△46.7	300	△47.9	208	△46.8	115.18

直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年2月期中間期	1,970,000株	2025年2月期	1,970,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年2月期中間期	163,688株	2025年2月期	163,688株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年2月期中間期	1,806,312株	2025年2月期中間期	1,778,181株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
中間会計期間	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、2025年4月から6月までの四半期別GDP実質成長率は5四半期連続でプラスとなりました。企業収益は上場企業を中心に緩やかに改善が続き、雇用情勢は完全失業率及び有効求人倍率ともに横ばい圏内であります。一方、世界的な長期金利が上昇に加え、外国為替相場の変動及び関税政策の影響により、輸入物価及び消費者物価は継続して上昇していくことが見込まれる状況にあり、国内景気には停滞するリスクが内在しており、今後の動向を注視する必要があります。

当社の事業セグメントは、バイク事業及びフィットネス事業となっております。当中間会計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

国内バイクメーカーは、国内市場が若年層の人口減少や燃料価格高騰などの問題を抱える中で、若年層の新規ライダー及び中高年層のリターンライダーの獲得につなげようと新型車を投入しており、海外バイクメーカーは1000ccクラスの大型バイクだけでなく、比較的安価な400cc以下の車種を投入することで幅広い層への拡販を図っております。しかし、コロナ禍による需要増が一巡したこと、新車価格の上昇などが影響し、2024年の新車販売台数は2023年を下回る結果となりました。

バイク販売店における中古バイク販売価格は安定しているものの、外国為替相場や関税率の変動等の影響によっては海外バイヤーの購入意欲が減退していく可能性があり、業者間オークション相場にも影響を及ぼし始めております。

このような市場環境において、当社はバイクを売却したいユーザーの満足度と事業利益の両立を追求した買取価格帯を設定し、買取成約率と粗利単価の向上の実現に向けた取り組みを実施しております。

また、各種広告媒体への出稿を行い、バイク売却ユーザーが減少傾向にある中でも新たなユーザー層を獲得し、安定的な買取台数を維持する好循環を生み出しておりますが、広告宣伝費の増加にもつながっております。

バイク事業の当中間会計期間の業績は、売上高3,727百万円（前年同期比30.2%増）、セグメント利益302百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

(フィットネス事業)

当事業においてエニタイムフィットネスは4店舗、ステップゴルフは2店舗で増減はありません。

当中間会計期間でのエニタイムフィットネスの月平均会員数は、前年同期比17.6%増、ステップゴルフの会員数は同2.2%増となり、会員数は堅調に推移しております。

フィットネス事業の当中間会計期間の業績は、売上高260百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益50百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は売上高3,988百万円（前年同期比29.0%増）、営業利益353百万円（前年同期比4.1%減）、経常利益351百万円（前年同期比2.5%減）、中間純利益236百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当中間会計期間末において総資産は2,885百万円となり、前事業年度末と比較して8百万円減少しました。主な要因としては、投資その他の資産が27百万円、売掛金が16百万円、有形固定資産が11百万円、無形固定資産が6百万円増加し、現金及び預金が43百万円、商品が11百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末において負債は1,378百万円となり、前事業年度末と比較して245百万円減少しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が108百万円、1年内償還予定の社債を含む社債が95百万円、未払法人税等が40百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末において純資産は1,507百万円となり、前事業年度末と比較して236百万円増加しております。主な要因としては、中間純利益236百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末の現金及び現金同等物は1,616百万円(前年同期は1,639百万円)となっております。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は237百万円(前年同期は得られた資金195百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前中間純利益351百万円、その他の流動負債の増加額41百万円、支出した資金としては法人税等の支払額154百万円、役員賞与引当金の減少額40百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は77百万円(前年同期は支出した資金23百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出40百万円、差入保証金の差入による支出23百万円、無形固定資産の取得による支出7百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は204百万円(前年同期は支出した資金214百万円)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出108百万円、社債の償還による支出95百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月14日に公表しました2026年2月期の業績予想数値に対する当中間会計期間の業績の進捗状況は堅調であります。バイク事業においては業者間オークション相場の変動の影響を受けやすく、直近の相場状況が弱含みであること、フィットネス事業においてはエニタイムフィットネス南麻布2丁目店の建物附属設備更新による休業が発生し、休業期間中は売上が減少するため、業績予想数値は変更いたしません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,674,301	1,630,868
売掛金	70,828	87,621
商品	877,764	866,137
貯蔵品	3,244	2,327
前払費用	24,990	22,520
その他	24,724	12,934
流動資産合計	2,675,853	2,622,409
固定資産		
有形固定資産	116,300	127,986
無形固定資産	5,587	11,605
投資その他の資産	96,234	123,650
固定資産合計	218,121	263,242
資産合計	2,893,975	2,885,652
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,394	29,562
1年内償還予定の社債	155,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	236,654	246,412
未払法人税等	165,567	125,065
賞与引当金	40,530	36,125
役員賞与引当金	40,000	—
その他	222,018	262,913
流動負債合計	887,164	820,078
固定負債		
社債	185,000	125,000
長期借入金	551,219	433,217
固定負債合計	736,219	558,217
負債合計	1,623,383	1,378,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	264,984	264,984
利益剰余金	833,926	1,070,691
自己株式	△61,144	△61,144
株主資本合計	1,270,592	1,507,356
純資産合計	1,270,592	1,507,356
負債純資産合計	2,893,975	2,885,652

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	3,091,467	3,988,066
売上原価	1,759,888	2,448,706
売上総利益	1,331,579	1,539,359
販売費及び一般管理費	962,754	1,185,824
営業利益	368,824	353,534
営業外収益		
受取利息	139	1,687
受取手数料	2,422	2,990
その他	596	708
営業外収益合計	3,158	5,386
営業外費用		
支払利息	6,780	5,727
社債利息	1,354	1,372
株式報酬費用消滅損	1,624	—
その他	1,493	16
営業外費用合計	11,252	7,116
経常利益	360,730	351,805
特別利益		
固定資産売却益	1,787	—
特別利益合計	1,787	—
特別損失		
固定資産除却損	—	48
特別損失合計	—	48
税引前中間純利益	362,517	351,757
法人税、住民税及び事業税	115,104	115,283
法人税等調整額	△1,990	△290
法人税等合計	113,113	114,993
中間純利益	249,403	236,764

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	362,517	351,757
減価償却費	16,826	29,959
株式報酬費用	92	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,138	△4,405
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△40,000
受取利息	△139	△1,687
支払利息	6,780	5,727
社債利息	1,354	1,372
株式報酬費用消滅損	1,624	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,787	—
有形固定資産除却損	—	48
売上債権の増減額(△は増加)	△18,186	△16,792
棚卸資産の増減額(△は増加)	△130,048	12,544
仕入債務の増減額(△は減少)	4,406	2,168
その他の流動資産の増減額(△は増加)	13,506	13,649
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△12,076	41,899
その他	5,487	171
小計	239,220	396,414
利息の受取額	154	1,671
利息の支払額	△7,933	△6,371
法人税等の支払額	△35,977	△154,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,464	237,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900	△900
有形固定資産の取得による支出	△12,177	△40,489
投資有価証券の取得による支出	—	△5,062
差入保証金の差入による支出	△5,257	△23,563
差入保証金の回収による収入	256	450
無形固定資産の取得による支出	△5,386	△7,238
貸付けによる支出	—	△880
貸付金の回収による収入	—	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,464	△77,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△108,087	△108,244
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,572	△1,005
社債の償還による支出	△111,000	△95,000
割賦債務の返済による支出	△1,249	—
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	9,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,908	△204,249
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△42,908	△44,333
現金及び現金同等物の期首残高	1,682,350	1,661,100
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,639,442	1,616,766

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は2025年7月10日開催の取締役会で本社移転に関する決議をいたしました。これにより、本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、移転予定日までの期間で減価償却が完了するように当中間会計期間より、耐用年数を変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当中間会計期間の営業利益、経常利益及び税引前中間純利益がそれぞれ3,569千円減少しております。

(セグメント情報等)

前中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	2,862,686	228,781	3,091,467
セグメント利益	329,997	38,826	368,824

(注)「セグメント利益」は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	3,727,741	260,325	3,988,066
セグメント利益	302,785	50,748	353,534

(注)「セグメント利益」は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。